

郡山高等学校 オーストラリア研修 4 日目報告書

研修 3 日目。今日も朝は冷え込みましたが、日中になると 20 度近くまで気温は上昇し、強い日差しが降り注ぐ一日となりました。7 時 45 分になるとホストファミリーの送迎で、生徒達がぞくぞくと登校してきます。ホームステイ 2 日目が終了し、昨夜も各家庭で様々なドラマが繰り広げられたようです。「ご飯の量を減らして欲しいと言ったら伝わった」「ホストマザーのジョークが分かった」など嬉しい報告がある一方で、昨日に引き続き「英語が伝わらなくて不安」「何を話せばいいのか分からない」と会話の糸口を模索している生徒も見られます。「言葉の壁」、そして「コミュニケーションの方法」に悩んでいる生徒が多いようです。家族との関係を深めるためには、自分からアクションを起こすことが必要不可欠です。しかし、初めての共同生活で分からないことがあったり、不安に感じるものがあつたりするのは当然ですので、生徒様に寄り添い後押ししていけたらと思います。

そして今日はいよいよバディとの対面です。続々と生徒を迎えにバディが集まってくると、楽しみと緊張で複雑な表情になっていく生徒達。しかし、それは同じティーンエイジャーであるバディにも当てはまります。「オージーはみんなフレンドリー」という訳ではなく、恥ずかしがり屋の現地校生徒も少なくありません。笑顔で挨拶を交わすグループ、目を見るのさえ恥ずかしく、ぎこちなく初対面を終えるグループと様々な光景が見られました。そして、ランチの時間は気まずさに耐えられなかったためか、貴校生とバディの 2 つの輪が多くできてしまいました。そんな中、現地校生の集団の中に貴校生 1 名というグループも。話題はゲームや好きな子の話と、同世代の共通話題は日本もオーストラリアも変わらないようです。「緊張したけど、話せて良かった」「優しい子で楽しかった」と目を輝かせて報告してくれたのが印象的でした。また、もう一つ印象に残ったのは、バディと現地校生の会話に入れなくても、その場から逃げずに一生懸命話を聞いていた生徒の姿です。既に内輪の中にひとり飛び込むのは勇気がある行動ですが、研修期間には限りがあり、この場でしか経験できないことが沢山あるからこそ、生徒には悔いの残らない行動をして欲しいと思います。

長い様であつという間に過ぎて行く残り 9 日間は、沢山の挑戦と失敗、そして小さな成功体験に彩られた研修となるよう、全力でサポートして参ります。

以上研修 4 日目の報告と致します。



英語クラスの様子①



英語クラスの様子②



バディとのランチ①



バディとのランチ②